

佐藤啓策君 相田さん、卓話ご苦労様です。楽しく拝聴させていただきます。

馬場直次郎君 途中退席いたします。

阿部勝子君 相田さん卓話宜しくお願い致します。

佐藤義英君 相田さん卓話ご苦労様です!!

本間建雄美君 相田恒彦会員卓話拝聴出来ずすみません。早退のため宜しくお願い致します。

落合益夫君 BOXに協力

丸山達夫君 //

加藤實君 大野さんに協力です。

栄長隆文君 BOXに協力。

横田加代子君 //

* 4月のコメント賞は羽賀一夫会員です。

卓 話： 「何が会ってもプラス思考で」 相田恒彦会員



平成4年11月の末、友人に娘婿を紹介方々、一献しました。その日は仕事も忙しく、寒さも厳しい日でした。話は盛り上がり、私も気分が良かったせいか大分お酒も入っていました。

帰宅したのは12時過ぎでした。妻に「もう遅いから早く寝た方がいいよ」と言われすぐに床に入りました。

妻もパジャマに着替えていたら、後ろから「ハア～」と大きく吸い込むような音がして、口を大きく開けたままの私が眼に入ったそうです。あわてて側に行き私の名前を繰り返し呼びながら、ほほを叩いたりしても、何の反応も無く次第に顔色も変わっていきました。“これは心臓だ”と確信した妻は、救急車を呼ぼうか、二階で寝ている娘達を起こそうかと一瞬戸惑いましたが、早く心臓マッサージをしなくては思い、直ぐに始めたそうです。2分ほど経った頃「ハ～」と息を吐き出し、呼吸を始めました。その間私は不思議な体験をしました。幽体離脱だったのでしょうか？私が部屋の天井にフワッと浮き、その周りから誰かが私を呼ぶのです。「何だろう」とその声に耳を澄ましているうちにパッと目が覚めたのです、そしてその直後、耳の中でガーとものすごい勢いで流れるような音がしました。妻が「お父さん、わかる」「大丈夫」と叫んでいました。私は何が何だか解らない状態でした。

「お父さん、これから救急車を呼ぶから直ぐ病院へ行こうよ」と言われても頑固な私は「いや大丈夫だ。病院なんか行かなくていいよ」と言い張りました。私の気性を知っている妻はとうとうあきらめ、一晩中、寝ずに私の側に付いていてくれました。

翌日「今日は絶対に病院へ行くんだよ、！」と言われても私はまだ拒んでいました。「お父さん、洗面所で自分の顔をよーく見て来てください」と言われ、仕方なく見に行き、鏡を覗いて驚きました。顔がムクみまるで別人のようでした。さすがに私も“これは大変だ”と思い早速長岡の立川病院へ行きました。医者に倒れるまでの状況を話したところ「いやーそれは良かったですね。救急車を待

っていたら間に合わなかったでしょ。奥さんは医療の関係者ですか」と聞かれましたがもちろん妻に医療の経験など全くありません。私を死なせるわけにはいかないと思った瞬間、以前テレビで見た心臓マッサージを行っている場面が不思議にも鮮明に思い浮かんだそうです。必死だったので怖さもなかったようです。でも私の状態が落ち着いたところで寝ている娘達を呼び、顔を見た途端安心したのか足がガクガク震えたそうです。

診察が終わりその日即入院となり、次の日から検査が始まりました。“どうしてこんな病気になってしまったのか”健康に自信を持っていただけにショックを受け、更に心臓が止まった原因がなかなか解らず不安は増すばかりでした。

病気をする時には必ず前兆があると言われていますが、思い起こせば私もありました。前夜しっかり睡眠を取ったのに翌朝車の運転をしているとどうしようもない程の睡魔に襲われるのです。ある日お得意先へ行った帰り、ひどい眠気を感じ、仕方なく農道で眠っていると「どうしたんですか？気分でも悪いんですか？」とのお巡りさんの声にビックリして目を覚ました事もありました。又、ある時、出張で車に乗り道路を走っていた時、眠気がさし、端まで寄ってしまいジャリ道の石のはじける音で“ハッ”と目を覚ましたりと、何度かヒヤヒヤした事がありました。今思えばこうやって無事である事が不思議なくらいです。会社でも2回ほど息苦しくなった事もありました。少し休んでいれば治るので、ただの疲れだろうと勝手に解釈していました。

話は戻りますが検査は半月近くかかりやっと病名が判明しました。狭心症です。

狭心症には二通りあり、私の場合はストレスや疲労等により冠状動脈の痙攣によって起こる方でした。病名が判明したものの“いったいこれからどうなるんだろう”と不安に思っている私に医者は「今は狭心症に効くヘルベッサーR100、ニトロールRカプセルといういい薬があります。と言って九州の熊本大学病院で300人を対象に生存率を調査したところ、そのうち2人死亡、この2人は勝手に薬を止めてしまった為です。だからこの薬をキチンと服用していれば大丈夫ですよ。もし発作が出た時には、ニトロを舌下に入れると直ぐに楽になりますから安心してください。」とそれを聞き私も妻もほっと胸をなで下ろしました。

退院後まもなくと、数ヶ月後に息苦しい時があり、2回ほどニトロを使用しました。でもそれ以来幸いなことに今日まで使わずに済んでいます。

話は変わりますが、皆さんもよくご存じの『四苦八苦』という四字熟語があります。ひどい苦しみ。非常に苦勞する事。との意味です。

四苦には生・老・病・死があり

生とは生きていく上での苦しみ

老とは老いていく苦しみ

病とは病になった苦しみ

死とは死に対する苦しみ

この四苦加え 愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊陰苦・の四つの苦があります。